

令和7年6月27日

## 令和6年度学校関係者評価委員会報告

学校法人 神奈川歯科大学  
東京歯科衛生専門学校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和6年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を下記のとおり報告します。

### 記

#### 1 学校関係者評価

##### 学外委員

- ① 佐藤 泰正 (文京学院大学女子高等学校 副校長)
- ② 富田 基子 (東京都歯科衛生士会 顧問)
- ③ 功刀 初穂 (しらゆり歯科医院 院長)
- ④ 櫻井 純二 (田中歯科器械店)
- ⑤ 三宅 みちる (32回卒業生)

##### 学内委員

- ① 佐々木 ひろみ (学校長)
- ② 李 昌一 (副校長)
- ③ 中村 琢磨 (事務長)
- ④ 儀我 有子 (教務主任)
- ⑤ 齊藤 和臣 (広報部長)

#### 2 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

## 会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第6回）
開催日時	2025年 6月 27日（金）
場所	書面開催
委員 （敬称略）	佐藤 泰正（文京学院大学女子高等学校副校長） 富田 基子（東京都歯科衛生士会顧問） 功刀 初穂（しらゆり歯科医院院長） 櫻井 純二（株式会社 田中歯科器械店部長） 三宅 みちる（32回卒業生）  佐々木 ひろみ（学校長） 李 昌一（副校長） 中村 琢磨（事務長） 儀我 有子（教務主任） 齊藤 和臣（広報部長） 比田井 智哉（事務/書記）
配布資料	2024年度 学校自己評価報告書
結果報告等	集約した意見は「令和6年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書」にまとめた通り。

以上

## 2024年度 東京歯科衛生専門学校 学校評価書

※ 自己評価の10項目と基準点数

1)教育理念・目標、2)学校運営、3)教育活動、4)学修成果、5)学生支援、  
6)教育環境、7)学生の受け入れ募集、8)財務、9)法令等の遵守、10)社会貢献・地域

<適切・・・4点、 ほぼ適切・・・3点、 やや不適切・・・2点、 不適切・・・1点>

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員の指導及び助言
		評価 得点	成果と課題(「学校自己評価報告書」の略記)	
(1) 教育 理念 ・ 目標	① 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4	<b>【成果と課題】</b> ・学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。	・御校の教育理念は、社会の高齢化が進む中で、口腔衛生分野においては特に重要になる、「患者にどう寄り添うか」を重視するものであり、高く評価します。専門職としての知識や技術だけではなく、患者との信頼関係構築を重視する姿勢は今後益々必要とされる視点です。時代の要請に応えるものとして、教育現場の重要な指針となっていると思います。  ・教育目標の人々に信頼され、心を癒せる、健康支援者という内容に就職された卒業生が近づいていることを感じております。目標に近づく教育をありがとうございます。  ・評価結果の内容は、適切だと思います。教育目標等、全学年、前後期の教授要綱の裏表紙に記載されているので、全学年に浸透されていると思います。卒業生の講話は、将来像をイメージしやすいと思うので、今後も継続して頂きたいと思います。色々な方面に進んだ卒業生の講話を授業以外でも、インスタやHPに載せて、在校生に歯科衛生士の活躍を周知してもらってもいいと思います。
	② 学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	4	・1、3学年の歯科衛生士概論の授業の中で、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する卒業生の歯科衛生士による講話を設定し、将来像を高めるための取り組みを前年同様取り組んだ。卒業生の生の声、アドバイスは学生に好評であった。	
	③ 社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	・教育理念・目的・育成人材像は定められていると考える。ホームページ上で、またオープンキャンパスにおいても、配布物に記載し、周知されている。それに共感して入学する者も多数いることも感じられる。	
	④ 学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	<b>【今後の改善方策】</b> ・学校の理念・目的に基づく人材育成を実践していく次世代の教職員を育成していくこと。	

(2) 学校運営	① 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の育児休暇、休職等で、3名減で開始された年度であったが、教職員の協力、非常勤教員の採用、更に8月には新規採用の教員を入れることが可能となり、教育への影響を押さえることができた。</li> <li>・全館のwifi設備を整え、国家試験対策DHACSの更なる活用を広げることができた。</li> <li>・wifi設備により、教授要項、日程、授業資料等、学生が必要な資料をLMSにて利用できるようになったのは、学生へのサービス向上と教務の業務削減に繋がった。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LMS、DHACS、HP上での学生ページを一本化し、学生が使用しやすいように整えていくことを検討していく。</li> <li>・将来的には、教務事務を配置し、教員の本来の教育面での業務に専念できるようにしていく必要を感じる。</li> <li>・アナログ部分の改善・紙の消費量を減らす電子化を継続課題とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御校は安定した経営の元で教育理念を着実に実現されています。経営収支黒字化の継続、実にその内容が第三者機関の客観的指標に基づいて明示されている点は、信頼性の高い学校運営の証と言えます。黒字により余剰金を学生サービスへと還元されている姿勢も評価されるべき点であり、教育と経営の好循環を生み出していると考えます。</li> <li>・学校運営について、すべて適切と言う回答がありました。アナログ部分の消費量を減らし電子化を継続課題とするところを評価のように実践されているとよいと思います。</li> <li>・少数精鋭での運営と拝見しますが、生徒さんへの教員の接し方は熱心で暖かいと思っております。</li> <li>・評価結果の内容は適切だと思います。毎年同じ内容になりますが、在校時、大量な紙の資料でしたので、電子化になり良かったと思います。引き続きLMSの活用をお願いいたします。</li> </ul>
	② 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4		
	③ 人事・給与に関する規定等は設備されているか	4		
	④ 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4		
	⑤ 組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4		
	⑥ 教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4		
	⑦ 教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4		
	⑧ 業務効率化を図るシステム化がなされているか	4		

<b>(3) 教育活動</b>	①	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	<p><b>【成果と課題】</b>  ・実力試験のあり方、判断基準を検証でき、実施できた。</p> <p>・歯科臨床の場での、専門的な診療所の開拓を進めることができた。</p> <p>・審美歯科、訪問歯科、インプラントなど新しい専門分野の知識や経験値の高い人材の採用、実習先の更なる確保。(継続課題)</p> <p><b>【今後の改善方策】</b>  ・継続課題での更なる実習場所、専門性の高い授業の提供を考える。</p>	<p>・国家資格取得という明確な目標に向け、実習指導や臨地実習の場の確保、インストラクターによる指導など、多面的な取り組みが行われています。教授要綱やWEBサイトの情報からも、教育目標達成への体系的な努力が読み取れます。専門性の高い教員の確保など課題も指摘されていますが、今後の改善が期待でき、堅実な運営が伺えます。</p> <p>・すべて適切と言う判定がありました。審美、歯科訪問診療、インプラントなどの新しい専門分野の知識や経験値の高い人材の採用、実習先のさらなる確保と言う継続課題を実践していただければと思います。</p> <p>・適切と思います。今後、バキューム管路の洗浄についてや、院内感染管理等、歯科メーカーの授業のご提案が出来たらと思っています。</p> <p>・評価結果の内容は適切だと思います。専門分野への実習は、とても良い経験になると思うので、引き続き実習先の更なる確保をお願いいたします。</p>
	②	教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4		
	③	カリキュラムは体系的に編成されているか	4		
	④	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4		
	⑤	成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4		
	⑥	人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4		
	⑦	関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4		
	⑧	関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	4		
	⑨	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4		

(4) 学修成果	① 就職率の向上が図られているか	4	<b>【成果と課題】</b> ・3年生に対する国試対策はしっかりされていたと学生アンケートからも好評価を得たが、全員を国試合格に導くことはかなわなかった。 ・国試対策補講、KDU講師により解説授業の等、可能な対策を講じたが、参加しない学生への対応ができなかった。 ・夏季休暇前の就職ガイダンスの開催を実現でき、学生への意識づけにも繋がった。昨年に引き続き、法人医療機関のガイダンス参加も現実化され、横浜クリニックへの就職へと繋がった。 ・卒業生による「卒後のキャリアアップ」講話を引き続き実施できた。	・講習への参加に消極的な学生や退学者増加についての報告は課題を浮き彫りにしています。特に金銭面の問題でないとすると入学時点での動機や目的意識に落差があると考えられます。これは入学者の確保だけでなく教育目標を理解し学びに積極的に向き合える学生を選抜する体制強化が必要であることを示しています。
	② 資格取得率の向上が図られているか	3	・国試対策への参加を渋る学生、また学校に来ることをできるだけ敬遠しようとする学生への対応について。 ・1年生の退学者の増加を真摯に受け止め、早急な対応を実施する。	・学習成果について、国試対策がしっかりされていると言う学生アンケートの高評価は素晴らしい結果だと思います。このまま国試対策をしっかりと行っていただくと嬉しく思います。
	③ 退学率の低減が図られているか	3	・卒業後の動向は一部の人に偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。昨今連携が稀薄になってしまったと思われる連携について模索が必要である。	・生徒さんの躓き等に丁寧に対応されていると思います。
	④ 卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	3	<b>【今後の改善方策】</b> ・引き続き国試合格の維持・向上のための対策(TDH版)を作り上げていく事。 ・退学者低減にむけ、カリキュラムの改変の検討、学習支援の対応を優先課題として取り組む。 ・同窓会で確認している卒業生の活動について、教職員間で共有する。 ・退学者低減を意識してサポートしてきているが、今後も親身な教育を継続していく。	・評価結果の内容は適切だと思います。 1年生の退学者に関しては、退学理由によりますが、国試合格率が比較的良好な資格というだけで入学してしまう学生だと、入学してから実際の勉強、実習の大変さの理想と現実を感じ退学してしまうのでしょうか。私の学年では1年前期で5～6名退学したと思います。 1年後期で行っている実習医院の見学を前期で行い臨床での歯科衛生士業務を目の当たりにすると(今、勉強が大変、辛いと思っけていても)将来像が想像でき、退学を踏みとどませられるのでは
	⑤ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	3		

(5) 学生支援	① 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	<b>【成果と課題】</b> ・求人票閲覧のWeb化により、学生、教員双方に利点があった。	・国の教育訓練給付金制度や修学支援新制度対象校となるなど、経営の健全さが学生支援の土台となっています。就職支援の充実も評価されるべき点で、在校生受験生の安心感につながります。再就職支援については「ほぼ適切」とあり、更なる具体的な取り組みや成果の可視化が求められます。全体として学生へのキャリア形成支援は良好ですが改善の余地はあるようです。  ・「卒業生への支援体制はあるか」について、ほぼ適切となり、その他は適切となっております。学生支援については、教員の皆様が尽力されていることが伺えました。  ・就職ガイダンスの実施はとてもよいと思います。  ・評価結果の内容は適切だと思います。求人票のWEB化は時代に沿っていて、学生がいつでもチェックできるのでよいと思います。歯科衛生士会学生会員として活動している学生が増えることは、とても喜ばしいことだと思います。私は学生会員ではなかったのですが、学校の授業以外で先生に声をかけて頂き地域衛生活動に参加できたことが、とても良い経験になっております。
	② 学生相談に関する体制は整備されているか	4	・高等教育修学支援制度の対象者が増加し、経済的支援を継続している。  ・ハローワークの教育訓練給付金の対象講座として継続して指定され、今後の社会人入学生の支援を継続することができる。	
	③ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	・就職ガイダンスの実施。また、企業による就職活動のアドバイスの実施ができた。	
	④ 学生への生活環境への支援は行われているか	4	・高校ガイダンスへの参加が増え、高校生への職業教育に繋がった。  ・感染予防対策を講じながら、学生の安全を図り、授業、実習を実施することができた。	
	⑤ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。 また3年生の保護者には、必要に応じ国試の取り組みに必要な情報を提供しサポートのお願いをした。	
	⑥ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	・歯科衛生士会学生会員としての活動、デンタルショーへの参加、大学の研究等を進めることができた。	
	⑦ 保護者と適切に連携しているか	4	<b>【今後の改善方策】</b> ・卒業生の動向を把握するために、同窓会(藤紫会)との連携を強めていく方策を模索することを検討する。	
	⑧ 卒業生への支援体制はあるか	3	本校卒業生教員が増えたことにより同窓会との連携がとりやすくなったことを生かす方向で進める。	
	⑨ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	・スクールカウンセラーの活用を図る。	

<b>(6) 教育環境</b>	①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の口腔内を再現した歯科顎模型および口腔内以外の周辺器官と人体を再現したシミュレーターを導入し、高齢者への口腔ケアの実習を充実させることができた。</li> <li>・昨年度導入した実習室のウオッシャー洗浄機を本格的に活用させ、効率的かつ安全に実習を行うことが可能となった。</li> <li>・新しい臨地実習先として、横浜クリニックが軌道にのった。</li> <li>・防災ヘルメットの購入を継続し、避難訓練を実施できた。また3日分の水、食料、簡易トイレの備蓄も整っている。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海外研修については法人短大と連携を取りながら模索していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営の安定による余剰金を設備投資に活用し、教育環境の向上につなげているのは好ましい循環です。歴史的建造物を校舎として活かしつつも最新の設備を整えている点は他校にはない強みです。防災設備の整備など特有の課題もありますが、その努力は明白です。今後インターンシップや海外研修の更なる拡充が期待されますが、現状でも十分な状況と言えるでしょう。</li> <li>・今後の改善方策について海外研修を視野に入れている教育環境は非常に素晴らしいと思います。スウェーデンのイエテボリ大学などの世界をリードする予防歯科医学を学ぶ事はとても勉強になると思います。</li> <li>・評価結果の内容は適切だと思います。顎模型とシミュレーターで高齢者の口腔ケアの実習ができるようになったのは素晴らしいと思います。</li> </ul>
	②	学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	3		
	③	防災に対する体制は整備されているか	4		

(7) 学生の受入れ募集	①	学生募集活動は、適切に行われているか	4	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7年連続での定員充足ができています。</li> <li>・広報担当者をはじめ教職員が一団となり取り組んだ成果であると感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員を確保できている点は大きな成果です。特にSNSを活用した広報活動は受験生世代の関心を的確に捉えており、他校にも参考になる内容です。一方、外見の魅力ばかり強調しすぎると学ぶ意欲の低い入学者が増す恐れもあります。募集段階で学校理念の明確化や目的意識の高い志願者の獲得を意識した広報活動は今後益々重要になると考えられます。</li> <li>・7年連続での定員充足ができていると、このことで、先生方を始め皆様の努力が実っている結果だと思います。歯科衛生士の需要はまだ高く、多くの歯科衛生士を送り出していただいで感謝しております。</li> <li>・7年連続での充足は、この少子高齢化で他校が苦戦している中で素晴らしいと思います。</li> <li>・評価結果の内容は適切だと思います。</li> <li>7年連続の定員充足は、TDHの魅力が入学生の志しなどにマッチした結果かと思っています。</li> </ul>
	②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパス時に、学生、教職員の対応は好評を得、募集活動に貢献した。</li> </ul>	
	③	学納金は妥当なものとなっているか	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若者(高校生)をターゲットとしたSNS戦略を取り入れ、好評を得ている。(フォロワー数のアップ)</li> <li>・HPのリニューアルを行い、見やすいテイストにすることができた。</li> </ul>	
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学金に関して、昨今の社会的な状況を鑑み、入学者負担を考慮し削減に踏み切った。</li> <li>・基礎学力、意識の高い学生の人数を増やして定員充足を目指したい。</li> <li>・意欲のある学生の入学に繋げ、入学生を選抜できるようにする。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校への広報活動をより活発にしパイプを強化する。そのためにも、丁寧で真面目な指導を行う教育面での成果を、教職員全体でも意識していく必要がある。</li> </ul>	

(8) 財務	①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7年連続しての入学定員充足と休退学者減少による学生在籍数の増加、及び法人変更の好影響により、学校の財務基盤は更に安定を維持し、今年度も経常収支は黒字決算の予定。</li> <li>・財務の安定により、教育に関わる教材、設備等の導入、教員の増員も可能となった。また、要望にできる限り対応することが可能となった。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め現在の在籍数を維持していけば財政基盤は更に安定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容の質向上、自己分析、外部評価制度の整備、それに基づく継続的な改善の積み重ねが結果として財務状況につながっていると考えます。教育と財務は相互に作用する関係にあり、御校ではこの好循環が確立されています。単に収支を管理するだけでなく、その背景にある教育方針や組織的努力から反映された健全経営であり、持続可能な学校運営が実現されていると感じられます。</li> <li>・入学定員を充足し、退学者防止に努めて対策を練っていることがわかりました。人件費や材料、光熱費等の高騰が心配されます。経費が今よりも多くかかることが予想されるため、ゆとりを持って今後は対策されると良いと思います。</li> <li>・評価結果の内容は適切だと思います。</li> <li>入学定員充足と休退学者減少は素晴らしいことだと思います。財務の安定が継続する事により最新の設備等を導入して頂くことは良いことだと思います。</li> </ul>
	②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4		
	③	財務について会計監査が適正におこなわれているか	4		

<b>(9) 法令等の 遵守</b>	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開している。</li> <li>・専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。</li> <li>・問題点の改善に取り組んでいる。</li> <li>・広報等で使用する承諾書を全学年取得した。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報公開がHP上で適切に行われている点からも、法令順守に対する意識の高さがうかがえます。ハラスメント対策や防災衛生管理などの危機管理体制についても制度化だけでなく、学内でどのような共有運用がされているのか、その実効性が今後の焦点となります。来年度以降、これらの体制の運用実態が明示されることを期待しています。</li> <li>・専修学校設置基準及び養成所ガイドラインを遵守した運営を継続されていることを確認しました。</li> </ul>
	②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4		
	③	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4		
	④	自己評価結果を公開しているか	4		

(10) 社会貢献・地域貢献	①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	<p><b>【成果と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他団体への施設貸し出しを行い、社会貢献活動を行うことができた。</li> <li>・高齢者施設での「健康講座」を3年生対象に年2回取り入れ実施できている。</li> <li>・臨地実習を通じて積極的にかかわれていると思う。</li> <li>・今年は、地域の方への施設開放を、絵画展開催という形で実施できた。</li> <li>・毎年、地域の町内会有志に花見開放をして楽しんでもらっている。</li> <li>・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。</li> </ul> <p><b>【今後の改善方策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も積極的に地域にアピールし、イベント、社会貢献活動を継続していく。</li> <li>・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。積極的にアピールしていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門学校生の多忙な生活の中で、特に高齢者施設での健康講座などの社会貢献活動を取り入れている点は高く評価したいです。これらの活動は教育理念に掲げる「高齢者との向き合い方」を学生たちに意識させる貴重な機会でもあり、今後の充実が望まれます。また地域との連携は教育機関の責務でもあり、より広がりのある取り組みを期待します。</li> <li>・新型コロナウイルス蔓延の際に、ボランティアを一時期中断されていましたが、現在は学生のボランティア活動を再開しているとの事を確認しました。学生ボランティアをおこなっていた卒業生は、就職後も保育園児に紙芝居等の制作をして発表する機会がありました。ボランティア活動を行っていた経験が、その後の活動につながっていることがありました。引き続き地域の方に提供していただけると良いと思います。</li> <li>・医療活動への学びの道も社会貢献、地域貢献に通ずるものと思います。</li> <li>・評価結果の内容は適切だと思います。各学会の学生ボランティア活動の周知は、是非拡げて頂きたいと思います。学生のうちからどのような学会があり、どのような学会内容なのかを知ることは良いことだと思います。</li> <li>・近隣住民の患者さんから、お花見時期は「TDHの桜が綺麗だから開放してくれればいいな」というご意見がありました。引き続き、地域へのアピールを更に拡げて頂きたいと思います。</li> </ul>
	②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3		
	③	地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	3		